

今月の特集

「都心」と「郊外」
どっちに住む？

新築住宅の計画を立てている方は、
利便性の高い「都心」と住環境の良い「郊外」のどちらかで
迷っている人も多いのではないのでしょうか。
そこで今回は、都心と郊外のメリット・デメリットを考えてみましょう。

利便性の「都心」
自然を楽しむ「郊外」

都心で働く人にとって都心に住むことは、通勤のストレスがなく、交通費の節約にもなるので大変魅力的です。また、都心は商業施設なども多く、食事やショッピングへ気軽にでかけることができたり、エリアによっては、徒歩や自転車でいろいろな場所に行くことができます。仕事帰りにお酒を飲みに行っても帰りの時間をあまり気にする必要はなく、もし終電を逃してタクシーに乗ることがあってもタクシー代が安く済むといった都心生活のメリットを感じることができます。

都心は交通手段がたくさんあるので、マイカーがなくても生活に支障がないため、車の購入から維持費までを節約することができます。最近ではシェアカーも普及しているので、必要な時に車を借りれば、それほど不便を感じることはないでしょう。

いっぽう郊外では、周辺に公園や緑地があったり、海の潮騒や川のせせらぎなど、自然を身近に感じられることで、気持ちをゆったり保つことができます。育児中の家庭では、のびのびと子どもを育てる環境が手に入ります。また、新興住宅地であれば、お隣やご近所に同世代の子育て世帯が集まりやすく、家族ぐるみでのお付き合いがあったり、今後の

学校生活などをサポートし合えることも。一軒家の広々とした庭で野菜を育てたり、花壇を作ったりするなど、自然を楽しむ、ゆとりのある暮らしが可能です。さらに、職場との距離を保つことで仕事とプライベートの切り替えができたり、治安が良いというメリットもあります。

自身のライフスタイルが
都心と郊外を選ぶポイント

当然のことながら、都心の土地は郊外の同じ価格帯の土地と比べると、面積は狭く、特に繁華街などが近くにある場合は騒音や治安の心配があります。郊外ではそのような心配はありませんが、生活するにはマイカーの所有は必

須で、車の購入や維持費がかかります。また、職場までの距離があれば、通勤に時間がかかることがデメリットとしてあげられます。

都心の土地はその利便性から、借り手も買い手も多くいるため、資産価値が高いことが最大の魅力。将来的に土地を売却したり賃貸することを考えているのであれば、都心にメリットが多いといえます。郊外は、土地が安く購入できることが最大のメリットなので、同居する家族が多い家庭に向いているのではないのでしょうか。

「都心」or「郊外」。どちらにもメリット・デメリットがあるので、自身のライフスタイルが判断のポイントになるかもしれません。

